

ー第18回さがみはら環境まつり参加ー 生分解性ポリ乳酸繊維布で コサージュを作ろう！

1. さがみはら環境まつりとは

東京家政学院大学生活デザイン学科では、神奈川県相模原市との地域連携活動として、例年6月に開催される『さがみはら環境まつり』に実行委員として参加しています。『さがみはら環境まつり』は、地域で活動する市民、事業者、大学及び行政の協働により、市民の環境への関心を高めることを目的としたイベントです。

第18回さがみはら環境まつりは、令和4年6月19日（日）に、橋本駅前にあるミウィ橋本のインナーガーデンをメイン会場として開催されました。主催はさがみはら環境まつり実行委員会、共催は相模原市、事務局は相模原市立環境情報センターのエコパークさがみはらです。大変多くの企業や団体の後援や協賛・協力を得て開催されました。実施内容は、環境保全に取り組んでいる団体のパネル展示や工作体験、ステージ企画等でした。対象は一般市民、参加費は無料で、当日の参加者は約3000人を超え、大盛況となりました。



▲第18回さがみはら環境まつりポスター

2. 『ポリ乳酸繊維布でコサージュを作ろう！』体験教室の取り組み

プラスチック製品の使用や廃棄の問題に着目したテーマです。環境配慮型の生分解性繊維であるポリ乳酸繊維を身近に感じてもらうため、知ること、触ることを目的として、実際に、ポリ乳酸繊維布を使ったコサージュ作りの体験教室を実施しました。更に、プラスチック問題を子どもたちに簡単に伝えるためのイラストパネルを制作しました。生活デザイン学科の1年生全員が参加し、当日までの準備は、パネル制作班とコサージュ準備班に分かれて進めました。



▲ポリ乳酸繊維布のコサージュ

2-1. コサージュ作りの準備

コサージュ作りの練習から始まり、子どもたちが楽しく参加できるように、ポリ乳酸繊維布をカラフルに染色しました。更に、ブローチピンを固定するための仕掛けや花の中央に付ける毛糸のポンポンも作製して染色しました。みんなで手分けをして協力しながら作業を進めました。



▲コサージュ作りの準備作業のいろいろ

2-2. イラストパネルの制作

子どもたちに分かりやすく伝えるためのオリジナルキャラクターを考えました。登場人物は『はな』『トウモロコシくん』『かめ男』の3人(?)です。1枚目のパネルは『身の回りにあるプラスチックって何だろう？』というテーマです。2枚目はマイクロプラスチックについてのパネルで、マイクロプラスチックの原因になるものを身近な例を挙げて説明しています。3枚目はポリ乳酸繊維を紹介するパネルで、ポリ乳酸繊維は自然に還る素材でマイクロプラスチックの削減に繋がることを説明しています。

Q. 身のまわりにあるプラスチックってなんだろう？



Q. マイクロプラスチックってなんだろう？



Q. ポリ乳酸繊維ってなに？



▲制作したパネル

2-2. 当日の体験教室

参加してくれた子どもたちは、慣れない針を持って、一生懸命取り組んでくれました。出来上がると嬉しそうに笑顔になったのが印象的でした。



▲当日の体験教室の様子

プロジェクト概要

●テーマ

第18回さがみはら環境まつり参加
ポリ乳酸繊維布でコサージュを作ろう！

●パートナー

相模原市立環境情報センター（エコパークさがみはら）、さがみはら環境祭まつり実行委員会

●担当教員

現代生活学部 生活デザイン学科
准教授 花田 朋美

●実施期間

令和4年6月19日開催